

日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.193

2018年5月号

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL 528-2842 FAX 524-5613

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



支所統廃合の反対署名 越市長受け取り拒否!

市は、昨年11月、市民セ
ンター機能を再編し、36学
区ごとにある支所を10か
所に集約する素案を公表し
ました。この市の方針に対
し、自治連合会をあげて反
対署名に取り組み地域も生
まれ、5月21日、青山、瀬
田南、中央学区の自治連合

会の方が、学区で集めた
署名、合計1万5384
筆を越市長に提出する
ために来庁されました。
しかし、越市長は顔も出
さず、対応した市民部長
は、署名の受け取りを拒否
しました。
市は受け取り拒否の理由



署名を提出する各自治連合会のみなさん。写真右は受け取りを拒否する市民部長

写真提供：滋賀民報社

を、今年2月頃
に大津市自治連
合会会長から
「単位自治連合
会ごとの署名は
受け取らないよ
うに」と申し出
を受け、それに
従ったとしていま
す。
しかし、地域のみなさんの声を集めた署名を拒否することは、いかなる理由があっても市民の権利を否定することにつながるものです。

市民無視の姿勢をあらため 支所を拠点にしたまちづくりを

この間、越市長は、支所廃止方針に反対の声が多いことや混乱を招いていることを議会で指摘され、「市民への説明が足りていなかった。6月頃から順次、市民センターを取り巻く現状などについて、市民説明・周知を行い、市民の声も聞いていく」と述べていました。署名を真摯に受け取るのは当然であり、早急に受け取るべきです。
党市議団は、経費削減を目的とした支所の統廃合に反対します。むしろ各学区に支所を配置しているという他市にはない特徴を活かして、市内どの地域に住んでも同じようにサービスが受けられ、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めるべきと考えます。
この問題だけでなく、現在の越市政は市民に背を向け、市民とつくり上げてきた施策を次々と削減していきます。党市議団は、市民の声を受けとめ、寄り添う市政へ転換を求めていきます。

市民のための市政へ

今年度議会も
力を合わせがんばります

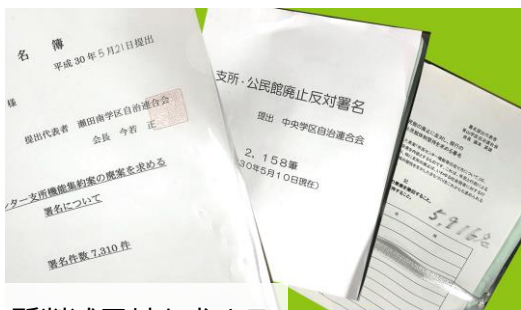


働く人を守れと、今年もメーデーに参加しました
節木県議(右から2人目め)と

今年度の議会の常任委員会・特別委員会の所属が決定されました。

杉浦(党市議団幹事長)：施設常任委副委員長、防災対策特別委 岸本(副幹事長)：生活産業常任委、公共施設対策特別委副委員長 石黒：教育厚生常任委、公共施設対策特別委 立道：教育厚生常任委、生活支援対策特別委 林：総務常任委、生活支援対策特別委

党市議団は、経費削減を目的とした支所の統廃合に反対します。むしろ各学区に支所を配置しているという他市にはない特徴を活かして、市内ど



支所削減反対を求める
署名 15,384 筆

国民健康保険料 値上げストップ!!



この4月から国民健康保険制度が都道府県単位化されましたが、保険料は引き続き市町村が決定します。

2月通常会議に提案された大津市国保予算では、モデル世帯(※)で5.1%の値上げとなっており、市民から「保険料の値上げを中止し、減免制度の拡充を求める」請願があり、市長に対しても要望書が提出されました。党市議団も議会で「市民負担を増やすな」と保険料の引き下げを求めました。

5月16日、市の国保運営協議会が開かれ、保険給付費(医療費など)の減少などにより昨年度国保会計で10億円余りの繰越

みなさんの声が実りました!

金が出たため(決算見込み)、その内の3億4600万円を使い、今年度の保険料をほぼ据え置きとする方向が示されました。

今般の値上げ中止は、市民の運動と党市議団の論戦が実を結んだものです。しかし据え置きされた保険料でも、モデル世帯で年間35万3000円と重い負担となっています。

市民の命と健康を守る自治体の役割を果たし、誰もが払える保険料とするよう引き続き取り組んでいきます。

※所得200万円、40歳夫婦と子ども1人

くらし福祉教育優先の 滋賀県政へ転換を!

市民の願い実現へ県に要望

日本共産党滋賀県地方議員団は5月18日、県民の切実な要求を実現するため対県交渉を行いました。教育、福祉、環境、農林水産業など各分野の県内各地域からの要望を提出。

全市町に共通する願いとして、子育て支援・少子化対策としても有効な「子どもの医療費助成制度」の拡充を求めましたが、滋賀県からは、前向きな回答はありませんでした。

大津市議団は市民の切実な願いの実現へ、医療的ケアを必要とする子ども

たちの通学保障、保育士確保、市が独自対応を行う原動力防災対策にも県として積極的に参画することや、自衛隊機の市街地上空飛行の中止を求めるとともに、飛行の中止を求めました。しかし県は、いずれの要望に



滋賀県と交渉する日本共産党議員団
写真提供：滋賀民報社

も他人事のような回答に終始。県民の暮らしや教育、安全を守る姿勢がないことが浮き彫りとなりました。県はいま、500億円もの税金を使った滋賀国体の施設整備などを推進し進め、暮らしに直結する事業を次々と削減しています。すでに財政は火の車です。むだづかいをやめ、暮らしを支える県政への転換が求められています。

6月通常会議の予定

- 4日(月) 議案提案
- 12日(火)~15日(金) 一般質問
- 19日(火) 予算常任委員会分科会
- 21日(木) 常任委員会
- 25日(月) 予算常任委員会全体会
- 27日(水) 特別委員会
- 29日(金) 討論・採決



会場は大津市役所です。インターネットで中継、録画もご覧いただけます。※請願の締め切りは、4日正午です。請願の提出には、紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。

市民と野党の共闘で 当たり前の政治を

弁士:

笠井あきら衆院議員

5月26日(土)
午後3時から

大津市民会館で

私たちもお話します

きのせ明子 大津市県政対策委員長

佐藤こうへい 党県国民運動部長

お誘いあわせてお越し下さい

日本共産党演説会

憲法9条を守ろう

改憲NO!

3000万人署名にご協力ください

詳しくは市議団ホームページのバナーをクリック
http://www.otsu-jcp.net/neurpndev/